

医療提供体制改革を議論 猪口氏、草場氏ら登壇

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム(東京都港区)は12日、新年初回となる会合をオンライン形式で開催。「医療提供体制の改革を考える」2024年の「節目」を控えて」と題し、各氏が発表を行った。

始めに、医療介護福祉政策研究フォーラムの中村秀一理事長が開会の挨拶。

次いで登壇したのはいずれの前半が、厚生労働省保険局長の伊原和人氏、公益社団法人全日本病院協会会長の猪口雄二氏、一般社

団法人日本プライマリケア連合学会理事長の草場鉄周氏、ハイズ代表・慶応義塾大学大学院特任教授の裴英洙氏の4氏。中でも猪口氏は、総合診療専門医の役割として「コンピュータを介して、共有し、職場において専門

医と協働できる環境の醸成を主目的とする」と解説。その上で「入院医療機能を発揮するため人件費等費用が保証される診療報酬体系が必須」と主張した。

また、草場氏は「パナデミックを通して日本のプライマリ・ケアの持つ課題が浮き彫りになったこと」に言及。「想定外の健康危機にも柔軟に対応できるプライマリ・ケアのシステムを再構築する

チャンス」と述べた。1部後半は、横浜市立大学附属病院後院長・麻酔科学教授の藤隆久氏、産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授松田晋哉氏、参議院議員/慶応義塾大学法科大学院医学部外科教授/弁護士の古川俊治氏、埼玉県立大学理事長/慶応義塾大学名誉教授田中滋氏の4氏が登壇。松田氏は、「適切な介護予防推進のために必要なこと

認知症GH、利用率微減
WAM 収益は73円上昇も

独立行政法人福祉医療機構(東京都港区)は、2021年度決算に基づき認知症高齢者グループホームの経営分析指標を公表した。利用者1人1日当たりに基づく活動収益は1万3419円と前年度より73円上昇。利用率は95.3%と前年度比で0.4ポイント低下した。サービス活動収益対人件費率は69.5%と同0.5ポイント低下した一方、サービス活動収益対経費率は21.7%と同0.6ポイント上昇した。また、サービス活動収益対サービス活動増減差額は3.5%で0.3ポイント低下する結果となった。

つなぐ 支える ICT



ロボテ高橋健一社長

東京外国語大学卒業。米国留学後、ユニリーバなどで経験を積む。父親の病をきっかけに、高齢期における社会課題の解決を志す。ベネッセスタイルケアの企画経験を経て2014年にアカリエを設立。21年に、同社の「HRモンスター」事業など分社化、robotte(ロボテ)を設立した。

「早期離職」の課題、改善を促しています。訪問介護、居宅介護などに加え、認知症グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅もあります。今年から障害事業に力を入れており、障害者グループホームや就労継続支援B型事業所を開設しました。さらに再生医療研究についても関わっています。ほかには、フアッション関係の協会にも参加しています。

高橋 本場に活動が幅広いですね。介護に興味を持ち始めたのはなぜでしょう。

平栗 学校を卒業した時期が2004年、就職氷河期

で平均求人倍率が0.68人でした。最終的に入社が決まった会社では、専門学校や社会人向けスクールを運営しており、最初は、医療事務を育成する部門に配属されました。1年間医療事務の職員を育てましたが、介護の教育部門で社内公募があった際に「力と勢いで手を挙げました。その中で介護職は就職後に離職する人も多いことを知り、もっと長く活躍できる環境がつかれないか、という課題意識を持つようになりました。また、介護人材不足を解消するためにはより多く

の方に介護を知って頂く機会を作ることが必要だと考えていました。そうした折、介護甲子園のスポンサーをすることに大会を見に行きました。そこでの熱量に衝撃を受け、懇親会で理事長と色々話をしていたら、次の日電話がかかってきて、「役員をやってくれないか」と言われたんです。会社はボランティアを含めた副業は禁止だったため、独立起業してまずは人材育成と経営コンサルを始めた。その時に今の会社の立て直しの相談がきまして、現在介護事業を行っているケアステーション大空の代表取締役就任して介護事業を行っています。

高橋 人材定着が進んでいる事業所は少数です。

平栗 人手が足りない時に採用すると育成する時間もなく、サービスの品質や職員のモチベーションも上がらず、離職率が高まります。定着は、人手が十分ないか」と尋ねられたことがある。大阪万博にて、日本のおもてなしと自立支援の両面を体験して頂く機会を作り、日本の介護の素晴らしさを世界中に発信していきたいと考えています。

「早期離職」の課題、改善を促しています。訪問介護、居宅介護などに加え、認知症グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅もあります。今年から障害事業に力を入れており、障害者グループホームや就労継続支援B型事業所を開設しました。さらに再生医療研究についても関わっています。ほかには、フアッション関係の協会にも参加しています。

高橋 まずは現在の仕事や経歴を教えてください。

平栗 今はケアステーション大空という会社で介護事業

で平均求人倍率が0.68人でした。最終的に入社が決まった会社では、専門学校や社会人向けスクールを運営しており、最初は、医療事務を育成する部門に配属されました。1年間医療事務の職員を育てましたが、介護の教育部門で社内公募があった際に「力と勢いで手を挙げました。その中で介護職は就職後に離職する人も多いことを知り、もっと長く活躍できる環境がつかれないか、という課題意識を持つようになりました。また、介護人材不足を解消するためにはより多く

の方に介護を知って頂く機会を作ることが必要だと考えていました。そうした折、介護甲子園のスポンサーをすることに大会を見に行きました。そこでの熱量に衝撃を受け、懇親会で理事長と色々話をしていたら、次の日電話がかかってきて、「役員をやってくれないか」と言われたんです。会社はボランティアを含めた副業は禁止だったため、独立起業してまずは人材育成と経営コンサルを始めた。その時に今の会社の立て直しの相談がきまして、現在介護事業を行っているケアステーション大空の代表取締役就任して介護事業を行っています。

高橋 25年の大阪万博に関わられると聞いています。世界に向けてどのようなことを発信しますか。

平栗 日本の介護と他国の介護で最も異なるのは、「おもてなしの心」と「自立支援」という考え方が日本にはあるという点です。中国の介護関係の方と話す機会があり、「お金を払って介護施設に入っているのに介護施設でなぜリハビリサービスをする必要があるのか」と尋ねられたことがあります。大阪万博にて、日本のおもてなしと自立支援の両面を体験して頂く機会を作り、日本の介護の素晴らしさを世界中に発信していきたいと考えています。

高橋 25年の大阪万博に関わられると聞いています。世界に向けてどのようなことを発信しますか。

平栗 日本の介護と他国の介護で最も異なるのは、「おもてなしの心」と「自立支援」という考え方が日本にはあるという点です。中国の介護関係の方と話す機会があり、「お金を払って介護施設に入っているのに介護施設でなぜリハビリサービスをする必要があるのか」と尋ねられたことがある。大阪万博にて、日本のおもてなしと自立支援の両面を体験して頂く機会を作り、日本の介護の素晴らしさを世界中に発信していきたいと考えています。

第6回 介護の未来に向けて(前半)

一般社団法人日本介護協会 平栗潤一 理事長



ロボテ(横浜市)の高橋健一社長が、「ICT×医療×介護」をキーワードに話題の人や企業へインタビュー。今回は一般社団法人日本介護協会 平栗潤一理事長に、介護との出会い、業界に対する思いについて聞いた。

ロボテ(横浜市)の高橋健一社長が、「ICT×医療×介護」をキーワードに話題の人や企業へインタビュー。今回は一般社団法人日本介護協会 平栗潤一理事長に、介護との出会い、業界に対する思いについて聞いた。

ロボテ(横浜市)の高橋健一社長が、「ICT×医療×介護」をキーワードに話題の人や企業へインタビュー。今回は一般社団法人日本介護協会 平栗潤一理事長に、介護との出会い、業界に対する思いについて聞いた。

介護甲子園優勝目標に経営再建

高橋 25年の大阪万博に関わられると聞いています。世界に向けてどのようなことを発信しますか。

平栗 日本の介護と他国の介護で最も異なるのは、「おもてなしの心」と「自立支援」という考え方が日本にはあるという点です。中国の介護関係の方と話す機会があり、「お金を払って介護施設に入っているのに介護施設でなぜリハビリサービスをする必要があるのか」と尋ねられたことがある。大阪万博にて、日本のおもてなしと自立支援の両面を体験して頂く機会を作り、日本の介護の素晴らしさを世界中に発信していきたいと考えています。

高橋 25年の大阪万博に関わられると聞いています。世界に向けてどのようなことを発信しますか。

平栗 日本の介護と他国の介護で最も異なるのは、「おもてなしの心」と「自立支援」という考え方が日本にはあるという点です。中国の介護関係の方と話す機会があり、「お金を払って介護施設に入っているのに介護施設でなぜリハビリサービスをする必要があるのか」と尋ねられたことがある。大阪万博にて、日本のおもてなしと自立支援の両面を体験して頂く機会を作り、日本の介護の素晴らしさを世界中に発信していきたいと考えています。

高橋 25年の大阪万博に関わられると聞いています。世界に向けてどのようなことを発信しますか。

平栗 日本の介護と他国の介護で最も異なるのは、「おもてなしの心」と「自立支援」という考え方が日本にはあるという点です。中国の介護関係の方と話す機会があり、「お金を払って介護施設に入っているのに介護施設でなぜリハビリサービスをする必要があるのか」と尋ねられたことがある。大阪万博にて、日本のおもてなしと自立支援の両面を体験して頂く機会を作り、日本の介護の素晴らしさを世界中に発信していきたいと考えています。

行政・ネットワーク

転倒時のみ
柔らかい

骨折
リスクの
低減

設置簡単
工事不要
床に置くだけ!

転んだときだけ柔らかい置き床

お気軽に
お問合せ下さい

販売・お問合せ
株式会社エクセレントケアサポート
Tel.075-744-6512 Fax.075-744-6547
〒600-8025 京都市下京区河原町通松原上清水町280-1
受付時間 (月~金)9:00~18:00 <https://excare-s.co.jp/>